営業秘密の箇所に墨塗処理をしたPDFファイルの作成方法

- ✓ 営業秘密の箇所に墨塗処理をしたPDFファイルの作成方法には、 例えば、以下の方法があります。
 - ✓ Adobe Acrobat Proを用いた方法(P.2~4参照)

✓ スキャナを用いた方法(P.5参照)

✓ なお、次の方法では作成しないでください。

✓ 文字色と同色のハイライト、蛍光ペン、マーカ等のアプリの機能を使用した方法であって、表示上塗りつぶしたとしても、文字情報が削除されず、データ上、文字のコピーが可能な方法

※その他のアプリを利用した墨塗処理方法については、各アプリのマニュアル を参照してください。

Adobe、Adobeロゴ、Acrobatは、Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の商標です。

Adobe Acrobat Proを用いた方法 (1/3)

PDFファイルを開き、「ツール」タブを選択します。 保護と標準化セクションの中から「墨消し」を選択します。

Output O	00-01.pdf - Adobe Acrobat Pro (32-bit) –
ファイル (E) 編集 (E) 表示(V) 電子サイン ウィンドウ(W) ヘルプ(H)	ファイル (F) 編集 (E) 表示(V) 電子サイン ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
ホーム ツール 1 00-01.pdf ×	$\pi - \Delta$ $\gamma - \mu$ 00-01.pdf
	Q、 以一ル検索
00—01	<u>追加</u> ▼ <u>追加</u> ▼ <u>追加</u> ▼
00—01 PUDT 素制等の番類	保護と標準化 (2)
審判守の性類 ▶	
1. 審判	セキュリティ設定 墨消し PDF 規格
(1) 拒絶査定不服審判(特 § 121、意 § 46、商 § 44、商附則 § 13)	
(2)補正却下決定不服審判(意 § 47、商 § 45)	
(3) 無効審判	
① 焼乾 (惑録) 毎沽室判(焼 8 193 旧焼 8 184 の 15① (H7 6 30 ビ前の出	

Adobe Acrobat Proを用いた方法 (2/3)

- ③ 「テキストと画像を墨消し」が選択されていることを確認し、 墨塗の箇所(テキスト、図)をドラッグして選択します。
- ④ 選択箇所が赤枠で囲まれます。「適用」をクリックします。



Adobe Acrobat Proを用いた方法 (3/3)

- ⑤「非表示情報を完全に削除」が有効になっていることを確認し、 「続行」をクリックします。
- ⑥ 墨塗処理が実行されます。終了する場合「閉じる」をクリックします。

このツールを適用すると、墨消しした情報がこの文書から完全 に削除されます。一度この文書を保存すると、墨消しした情報 を抽出することはできなくなります。 文書には非表示データおよびメタデータが含まれていることが あります。 これらも削除しますか?	墨消しを適用		
文書には非表示データおよびメタデータが含まれていることが あります。 これらも削除しますか?	このツールを適用すると、 に削除されます。一度この を抽出することはできなく	墨消しした情報がこ 文書を保存すると、 なります。	の文書から完全 墨消しした情報
非表示情報を完全に削除() 5	文書には非表示データおよ あります。 これらも削除しますか?	びメタデータが含ま	れていることが
	● 非表示情報を完全に	削除 ①	(5)

	& 00-01_墨消し済み.pdf - Adobe Acrobat Pro (32-bit) – □			
	ファイル (F) 編集 (E) 表示(V) 電子サイン ウィンドウ(W) ヘルプ(H)			
	ホーム ツール 00-01_墨消し済み.p ×			
	墨消し → 「* 非表示情報をすべて削除 適用 閉			
	00-01 6	^ E O		
	00—01 PUDT			
	審判等の種類	i Bi		
	1. 審判			
		ん		
	(2) 補止却下決定不服審判(意§47、商§45)(a) 無力素加	~ ~		

スキャナを用いた方法

✓ 営業秘密の箇所が塗りつぶされた証拠の写し等の印刷物を用意し、当該印刷物をスキャナでPDF化します。

上記印刷物の作成方法の例

- ✓ ハイライト等のアプリの機能を使用して、営業秘密の箇所を 表示上塗りつぶしたものを、印刷します。
- ✓ 証拠の写し等を印刷し、当該印刷物の営業秘密の箇所をマ ジックペン等で塗りつぶします。

※PDF化したものについて、墨塗箇所の拡大、画面の色調・明るさの変更 等をしても、営業秘密の箇所を読み取ることができなくなっているか、 OCR(光学式文字認識)機能等により墨塗箇所の文字等が読み込まれてい ないかを、必ず確認してください。